

子供たちや市民とのコラボで未来へとつなぐアートプロジェクト



団体名	インタラクティブ映像倶楽部	代表者 伊永和弘	記載者 伊永和弘
所在地(市区町村名のみ)	赤磐市		
活動目的	地域の資源を活用し、映像で地域再発見の活動を目指します。		
団体の紹介	映像作家、アーティスト、歴史研究者等で会員構成。2018年より活動。		
助成を受けての活動内容	<p>創学350年を迎える閑谷学校の歴史を振り返り、子供たちや市民とのコラボで、未来へとつなぐアートプロジェクトです。歴史・現在・未来と3つのパートで構成しました。</p> <p>現在のパートでは、学問の木として閑谷学校の象徴的な楷の木の葉っぱのイメージを募集し、応募作品を元に1枚の葉から大木に成長する過程を、アニメーション映像で表現しました。</p> <p>未来のパートは、募集した未来へのメッセージを元に制作いたしました。</p> <p>当日の来場者からスマートフォンを活用し、リアルタイムで画像を取り込み、作りこんだ映像とミックスした、一期一会となるプロジェクションマッピングを体験していただきました。</p> <p>10月10日は台風の接近により11日に順延されましたが、予想を上回る来場者数でした。</p> <p>楷の木の葉っぱのイメージ応募作品は水彩画、ペン画、刺繍、ペーパークラフト、備前焼とバリエーション豊かでこれらの作品と未来へのメッセージ応募作品を、市役所の2階多目的ホールで展示いたしました。</p> <p>来場者から、閑谷学校のイメージが変わった、来年もやって欲しい、という意見が多く届きました。</p>		
助成を受けての成果	映像の完成度を上げることができ、広報もより広く周知することができた。		
今後の活動の課題点	コロナ対策で人数を制限する場合、予約制にするとかの手段を取るべきであった。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	ホームページ interactive-movie-club.org		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。